

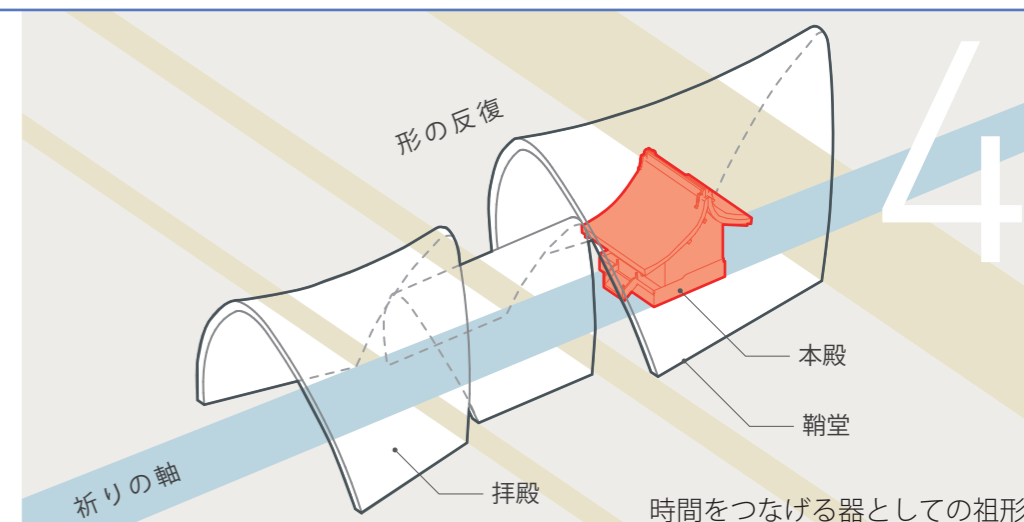
プロジェクト名：(仮) 霧島神社（霧島六所権現社）建替計画
主要用途：神社（鞘堂・拝殿） トイレ
建設予定地：鹿児島県志布志市松山町尾野見339
事業主体：再建プロジェクト委員会
構造：S造
仕上材：ガラス繊維布他
建築面積：12.96㎡
延床面積：31.09㎡
工事予定期間：2025年1月～2025年3月



大小様々なボリュームの連続

Episode 4 祖形の反復、軸性の創造、無意識の記憶への接近

敷地は、鳥居をくぐり階段を登った先の林間の空き地〈聖域〉である。かつての霧島噴火で飛来した石が夜々光輝し、御神体として崇められたのが、この神社の起源と言われている。この場所は、参拝者を迎えるだけでなく、地域コミュニティの絆を強化するためのおおらかな空間を創出する場としても機能する。家形埴輪をモチーフとした祖形を重ね合わせ、反復することで、祈りの軸を明示化させる。それぞれ異なる角度から同じ形を見せることで、訪れる者に多角的な視点を提供する。ボリュームの間から光が取り入れられ、空間にグラデーションを描く。人々がこの場所に足を踏み入れるとき、彼らはただの参拝者から時間と空間を超えた繋がりを感じる一員へと変わり、無意識の記憶へと接近する記憶の琴線に触れる場となる。



時間をつなげる器としての祖形